おびえ

漢那浪笛

青空文庫

咲きし華はしぼみて、
わが世は暗がりわたり。

くろめる渦巻きのなか
淋しき、うめきをやする。

そは、冷たき砂のうへに裂けて、
風に泣く片葉□貝にも似たり。

絶えせぬ浪の響き、肉にゆさぶれば、
小さき魂は、音なく伏してあるなり。
「なほ生きてあるのみ」
いつかまた、われは哀ふ。
と思へば、あたりのものみな、
怖ろしく眼にとまる。
かつて、命をすてゝ去る人あるを聞けど
あまりにかへる日の遠し……。
われは今、かのひからびし落葉の如く
地の上を、あてなく転げて、
冷やかに尚ほ生きてあるのみ。

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」国書刊行会
　　1991（平成3）年6月6日第1刷
初出：「沖縄毎日新聞」
　　1911（明治44）年6月1日
※初出時の署名は「浪笛生」です。
※初出の新聞で作品名として扱われている「おびえ」を表題としました。
※表題は、底本では「南の友へ【二】」の見出しの次の行に、5字下げて2行取りの横罫の下に記載されています。
入力：坂本真一
校正：良本典代
2017年3月11日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

おびえ

漢那浪笛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/